

経営比較分析表（平成29年度決算）

兵庫県佐用町 交流会館

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A1B1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	建物延面積(m ²)	宿泊定員数(人)	
該当数値なし	該当数値なし	589	25	

客単価(円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合(%)
3,584	導入なし	0.0
パリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率(%)	Wi-Fi設置
無	100.0	無

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
【】平成29年度全国平均	

分析欄

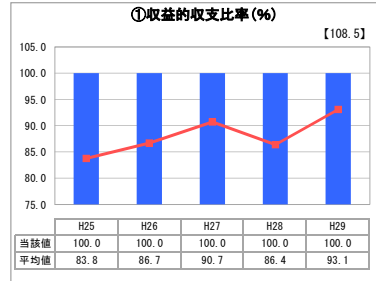
1. 収益等の状況について
 ①収益的収支比率と②他会計補助金比率は、いずれの年度でも平均値と比べて良好な数値と言える。
 ③宿泊者一人当たりの他会計補助金額から⑦EBITDAは、多くの年度で平均値を下回っており、人員配置の見直しを行い、高い収益性を目指した取り組みを行っていく必要がある。
 主たる原因は定員稼働率の低さであるが、本施設が家族用ロッジであるため、週末にしか集客が見込めない面がある。宣伝広告の方法や割安感のあるバック料金の設定など、多面的に改善案を検討していきたい。

2. 資産等の状況について
 本施設は建築から26年を経過し、修繕費・更新費ともに増加の傾向となっている。
 修繕方法や更新物品の選定などを慎重に検討し、コスト削減に努力していく。

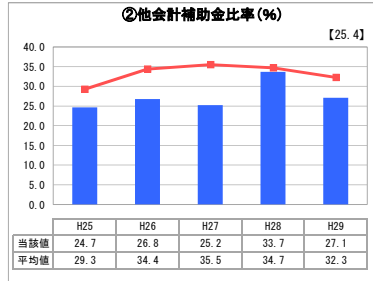
3. 利用の状況について
 町内の宿泊者数に占める本施設宿泊者割合は極少であることは、本施設の定員が25名と少ないことも一因ではあるが、定員稼働率の向上により改善を図りたい。

全体総括
 本施設は、ゆとりのある空間に4人から6人のグループが宿泊をする自然可能なログハウスであり、ホテルタイプの宿舎に比べるとどうしても収益性の面でハンディを抱える。
 施設の長所をブラッシュアップし、魅力的な見せ方で入込客の増加につなげていきたい。

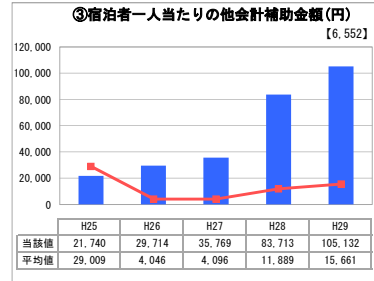
1. 収益等の状況



「経常損益」

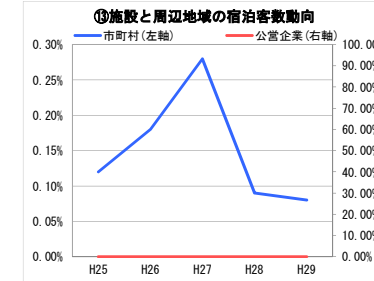


「他会計補助金割合」

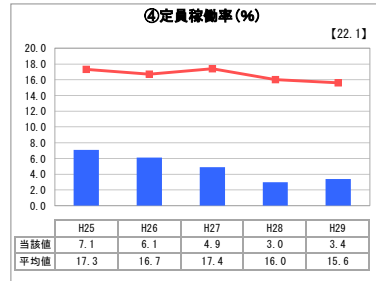


「他会計補助金額」

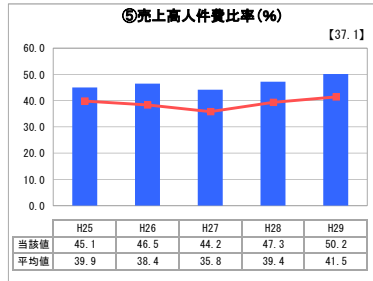
3. 利用の状況



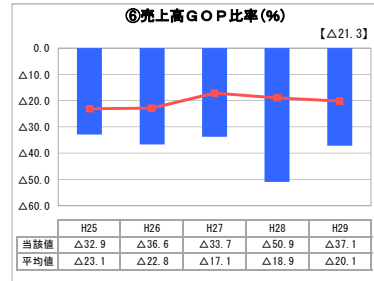
「都道府県産宿泊者数に対する割合」



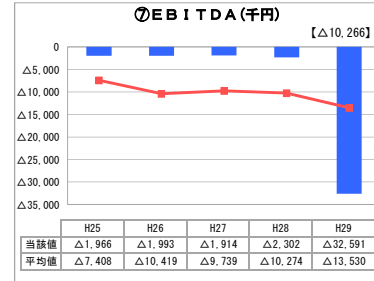
「施設の効率性」



「人件費負担」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

2. 資産等の状況

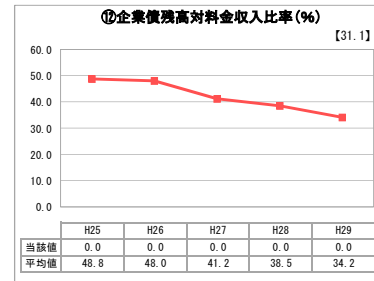


「施設全体の減価償却の状況」

⑨施設の資産価値(千円)	10,861
⑩設備投資見込額(千円)	282,667



「累積欠損」



「債務残高」